

青森県の「立ち位置」と「進むべき方向性」をまとめました。 ～「生業（なりわい）」と「生活」から見る青森県～

青森県では、今年の4月からスタートした「青森県基本計画未来への挑戦～情熱あふれるふるさと青森づくり～」を着実に推進していくため、マネジメントサイクル（※別添参照）の一環として、外部知見を活用しながら自己点検等を行い、この度、その結果をアウトルックレポートにまとめました。

1 アウトルックレポートとは

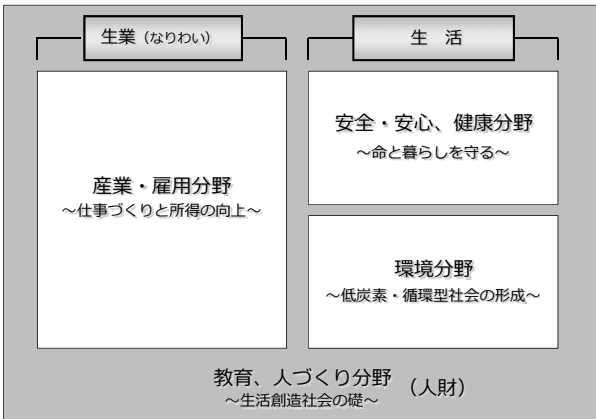
アウトルックレポートとは、基本計画に掲げた4つの分野を構成する政策、地域別計画、注目指標（1人当たり県民所得、平均寿命）などについて点検、検証を行うことにより、本県の**立ち位置**を様々な角度から多面的に把握するとともに、今後、本県が**進むべき方向性**をまとめたものです。

章	項目	内容
1	本県の現状と課題、今後の方向性	以下の2～4を踏まえ、総括的に本県の現状と課題、今後の方向性をまとめたもの
2	政策点検	4分野・18政策・62施策及び6地域別計画について自己点検し、実施状況、現状を表す客観的な指標、課題と今後の取組の方向性をまとめたもの
3	注目指標の分析	2つの注目指標（1人当たり県民所得、平均寿命）について、本県の立ち位置、関連する指標の推移等をまとめたもの
4	県民の生の声把握調査	県民の生の声を直接聞き、県民の現状・ニーズや、直近の社会経済情勢などをまとめたもの

2 青森県の現状と課題、今後の方向性

「青森県基本計画未来への挑戦」では、2030年における本県のめざす姿として、「生業（なりわい）」に裏打ちされた豊かな「生活」が実現している社会を掲げています。

「生業（なりわい）」と「生活」、そして生活創造社会の根幹をなす「人財」の観点から、県の現状と課題、今後の方向性をまとめました。



○県民一人ひとりの経済的基盤を支える「^{なりわい}生業」

- ・「生業（なりわい）」を代表する指標である「1人当たり県民所得」は、最も高かった平成8年度の水準近くにまで回復しましたが、その効果が地域経済全体に広く波及するまでには至っていません。

～比較優位資源を最大限に活用して、外貨獲得と域内循環を強化し、県民一人ひとりの所得の向上につなげていくことが重要～

具体的には

- 食料を切り口とした「食」産業の充実強化
- 低炭素社会を見据えた環境・エネルギー関連産業の振興
- 東北新幹線全線開業効果の相乗的・持続的な取り込み
- 厳しい経済情勢を踏まえた雇用のセーフティネットの確保 など

○暮らしやすさを守り、発展させる「生活」

- ・「生活」を代表する指標である「平均寿命」は、全国順位が男女ともに最下位であり、3大死因である悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患のほか、自殺、不慮の事故等による死亡率が高くなっています。

～県民の命と暮らし、生活の健全さを守るための取組を、一体的に進めることが重要～

具体的には

- 心身の健康維持のための保健・医療・福祉の充実
- 安心して子どもを産み、地域社会全体で子どもを守り、育てる環境づくり
- 環境配慮の意識の定着 など

○^{なりわい}「生業」と「生活」の根幹をなす「人財」

～持続可能な青森型社会を創り上げるため、人財育成にしっかりと取り組むことが重要～

具体的には

- 地域社会一体での子どもの教育
- 各分野の今を支える人財の育成

3 今後の流れ

- 知事をトップとする「作戦会議」において、アウトルックレポート、青森県総合計画審議会からの提言書、本県を取り巻く環境変化等を踏まえ、戦略キーワードを決定します。
- 戦略キーワードに基づき、各部局は平成22年度の重点事業を企画・立案します。

■ マネジメントサイクルの大きな流れ

H21. 7. 30 青森県企画政策部企画調整課

